

国際理解出前講座



アフガニスタンを知って、 そして忘れないで



まず、財団職員によるアフガニスタンのある村を題材にした絵本の読み聞かせから始まりました。果物いっぱい、笑顔にあふれた村。それが最後には戦争でなくなってしまいます。

そこから、春木先生による講座が始まりました。アフガニスタンの概要や、食事などの生活の様子を紹介しました。

その後、義手・義足支援の話が始まりました。義手・義足はサイズを測り、一度日本に戻って体に合うように直したものを再度渡航して、やっと渡せます。もちろん、そのまま渡せるわけではなくて、調整や調節が必要です。



11月18日(金)、姫路市立安富公民館で春木信韻さんによる国際理解出前講座「アフガニスタンを知って、そして忘れないで」を行いました。

春木さんは地雷によって手足を失った人々に義肢を届ける活動をされています。



春木さんは今、3Dプリンターで義手・義足を作ることができないかと勉強中です。もしそれが実現すれば、今の10分の1の値段で義手や義足が作れるからです。

自分のできることを、できるところから始められ、そして続けている春木先生の講座に、参加者のみなさんも静かに聞き入っていました。